

第2期京田辺市スポーツ推進計画

－令和7年度進捗管理シート－

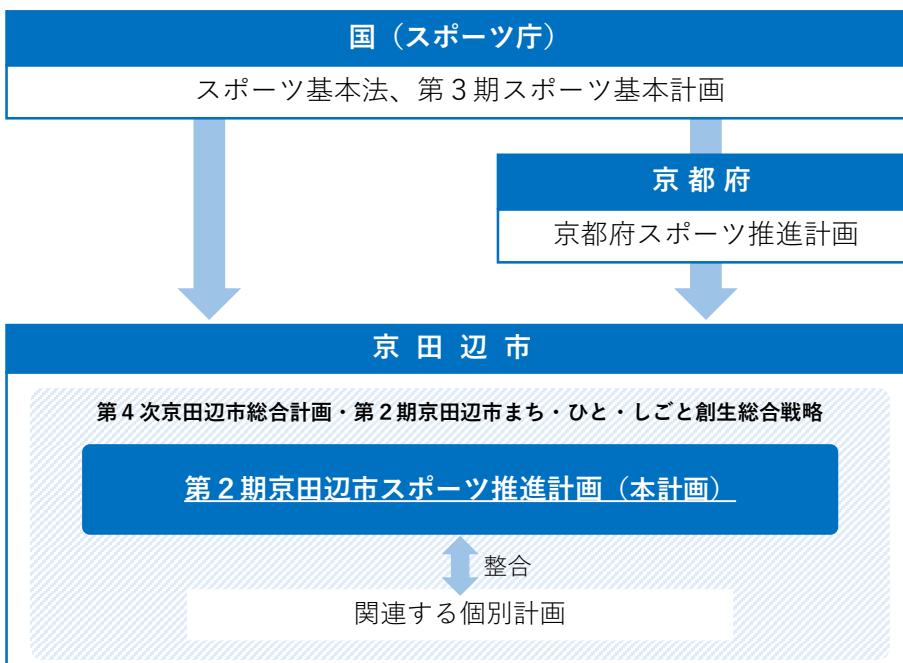
令和8年1月27日
文化・スポーツ振興課

計画概要

スポーツは体力向上のみならず、人々が生涯にわたって心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであるとともに、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人々の権利です。「人生100年時代」と言われる中で、スポーツは健康寿命の延伸や介護予防、心身の健康等に重要な役割を果たしています。

そのような中でも、若い世代を中心に進む人口増加、誰もがいつまでも健やかで幸せに暮らせるまちを目指す京田辺市の特色をいかした運動・スポーツを楽しむ環境を提供していくため、スポーツに関する施策の方向性や具体的な取組などを定めた「第2期京田辺市スポーツ推進計画」を策定しました。

■ 本計画の位置づけのイメージ



■ 計画期間



■ 計画の進捗管理

本計画は、進行管理（P D C Aサイクル）によってマネジメントすることとし、定期的に事業の実績や成果を取りまとめ、分析・評価を行った上で、必要に応じて事業や計画の見直しを行うことで、円滑な推進を図ります。また、毎年度の京田辺市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を報告し、意見を求めます。それらを次年度の取組に反映させることで、より効率的・効果的なスポーツ推進につなげます。

施策体系

基本理念

みんなのチャレンジにエールをおくるまち 京田辺

基本方針1

誰もがいつでも
スポーツを楽しめる
環境づくり

施策1 子どもがスポーツに参加できる機会の提供

- 施策2 働いている方や子育て世代などのスポーツ意欲醸成
- 施策3 高齢者がスポーツを楽しむ機会の提供
- 施策4 スポーツを通じた共生社会の実現

基本方針2

スポーツを通じた
にぎわいの創出

施策1 スポーツイベントの開催

- 施策2 スポーツを通じたつながりづくり
- 施策3 連携を通じたスポーツの活性化
- 施策4 スポーツによるまちの魅力創出

基本方針3

スポーツに携わる
ひと・団体への支援

施策1 指導者の確保・育成

- 施策2 地域のスポーツを支える方々への支援
- 施策3 スポーツ団体・スポーツクラブの活性化

基本方針4

スポーツを楽しむ
ための安全で便利な
環境づくり

施策1 スポーツに親しみやすい環境の整備

- 施策2 情報提供・相談支援体制の充実

指標名

単位

現状値 R4

目標値 R13

スポーツの実施率

%

59.0

70.0

運動をすることが好きな
児童生徒の割合

%

64.7

70.0

指標名

単位

現状値 R4

目標値 R13

スポーツイベント参加者数

人

13,927

22,000

トップレベルのスポーツに
ふれる機会の提供回数

回

1

3

スポーツを観戦した割合

%

92.4

95.0

指標名

単位

現状値 R4

目標値 R13

市スポーツ協会会員数

人

1,869

2,300

KDSC会員数

人

227

300

スポーツ推進委員活動件数

件

163

250

指標名

単位

現状値 R4

目標値 R13

市内スポーツ施設利用者数

人

325,458

400,000

3

施策の進捗状況報告①

基本方針 1 誰もがいつでもスポーツを楽しめる環境づくり

指標名	単位	現状値 R4	目標値 R13	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
スポーツの実施率 ※	%	59.0	70.0	—	—	—	—	—	—	—	測定予定
運動をすることが好きな児童生徒の割合 ※	%	64.7	70.0	—	—	—	—	—	—	—	測定予定

※本指標は、市民及び小中学生対象アンケート結果のため次期計画策定時に測定予定

施策展開

性別や年齢、障がいの有無などに関わらず、すべての市民がそれぞれのライフステージや関心などに応じて運動・スポーツを楽しむことができるよう、多様なニーズに応じた施策の展開やスポーツを通じた相互理解の促進に取り組むとともに、生涯を通じて健康に暮らすことができるよう、体力の維持向上や健やかな心身の育成に向けたスポーツ活動の促進に取り組みます。

施策 1 子どもがスポーツに参加できる機会の提供

施策 2 働いている方や子育て世代などのスポーツ意欲醸成

施策 3 高齢者がスポーツを楽しむ機会の提供

施策 4 スポーツを通じた共生社会の実現

実績・評価

事業実績

- 各指定管理者において、子どもを対象としたスポーツ教室や親子教室を積極的に展開（フットサル、テニス、新体操、ダンス、ベビースイミングなど）
- 地域の協力のもと、各小学校区において放課後子ども教室（地域学校協働活動）を展開
- 市ハンドボール連盟において、ハンドボール教室やクリスマスイベントなど、積極的に事業を展開
- 各指定管理者において、高齢者の運動習慣の定着を図る教室を実施（各種ヨガ、健康教室、体操教室、フィットネス教室など）
- スポーツ推進委員を中心に、地域でのニュースポーツ普及・指導を実施

課題

- 子育て世代が参加しやすい機会づくりの取組として、育児サポート付きのスポーツ教室を掲げているが実施に至っていない。
- 部活動地域移行について、受け皿となる団体や指導者の確保が課題となっている。

3

施策の進捗状況報告②

基本方針2 スポーツを通じたにぎわいの創出

指標名	単位	現状値 R4	目標値 R13	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
スポーツイベント参加者数	人	13,927	22,000	19,640	-	-	-	-	-	-	-
トップレベルのスポーツにふれる機会の提供回数	回	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-
スポーツを観戦した割合※	%	92.4	95.0	-	-	-	-	-	-	-	測定予定

※本指標は、市民及び小中学生対象アンケート結果のため次期計画策定時に測定予定

施策展開

スポーツイベントや大会の開催、世代間交流の促進など、まち全体や地域レベルでのスポーツを通じたにぎわいづくりに取り組みます。また、新しいスポーツに対するニーズへの対応、プロチームや本市と関わりのあるアスリートとの連携、民間企業や大学との連携等を通じて、スポーツの推進をはじめ、教育や文化芸術、産業や観光など、まちづくりの様々な分野の活性化を図りながら各種スポーツへの関心を高めるとともに、市民のシビックプライドの醸成や市外から訪れる交流人口の拡大に取り組みます。

施策1 スポーツイベントの開催

施策2 スポーツを通じたつながりづくり

施策3 連携を通じたスポーツの活性化

施策4 スポーツによるまちの魅力創出

実績・評価

事業実績

- ・スポーツ協会主催の各種スポーツイベントの参加者数はコロナ禍を経て回復傾向（陸上、マラソン、スポーツフェスティバル、駅伝など）
- ・全国小学生ハンドボール大会では、キッチンカーの出店など、にぎわいづくりの取組を展開
- ・全国大会出場時に支給する選手激励金も増加傾向（オンライン申請を導入）
- ・プロチームとの連携として、京都サンガF.C.のほか令和7年6月よりプロバスケットボールの京都ハンナリーズのホームタウンとして連携協定を締結
- ・新たなスポーツとして、パデルコートを整備し令和7年4月より運用開始

課題

- ・民間スポーツ施設との連携について、調査・検討が進んでいない。

3

施策の進捗状況報告③

基本方針3 スポーツに携わるひと・団体への支援

指標名	単位	現状値 R4	目標値 R13	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
京田辺市スポーツ協会会員数	人	1,869	2,300	1,883	—	—	—	—	—	—	—
K D S C 会員数	人	227	300	234	—	—	—	—	—	—	—
スポーツ推進委員活動件数	件	163	250	214	—	—	—	—	—	—	—

施策展開

安全なスポーツの実施やより高いレベルへの到達を支えることのできる指導者の確保・育成に取り組むとともに、スポーツを支える人材の育成や活動支援を進めます。また、スポーツに親しむ機会の拡大やにぎわいづくりにつながるイベントの開催など、活動団体の活動支援や連携強化にも取り組みます。

施策1 指導者の確保・育成

施策2 地域のスポーツを支える方々への支援

施策3 スポーツ団体・スポーツクラブの活性化

実績・評価

事業実績

- ・スポーツ協会との連携により、スポーツリーダー研修会（講習会・実技研修）及び普通救命講習を継続的に開催
- ・コロナ明け以降、スポーツ推進委員の活動件数が増加しており、各地域においてニュースポーツ等の指導・普及活動を積極的に展開
- ・同志社大学健康科学部の学生4名がスポーツ推進委員として、積極的に活動を展開

課題

- ・スポーツボランティアについて、募集や活用に至っていないため今後の検討が必要（特にワールドマスターズゲームズ2027関西に向けて）
- ・スポーツ協会やKDSCの会員数が伸び悩みの状況であり、新たな会員等の掘り起しが必要

施策の進捗状況報告④

基本方針4 スポーツを楽しむための安全で便利な環境づくり

指標名	単位	現状値 R4	目標値 R13	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
市内スポーツ施設利用者数	人	325,458	400,000	347,694	-	-	-	-	-	-	-

施策展開

既存のスポーツ施設の改修による安全な運動・スポーツ実施環境の確保や、市民ニーズに対応できる施設機能についての検討を進めるとともに、学校体育施設の活用等による運動・スポーツ実施機会の充実に取り組みます。また、様々な情報媒体による情報発信や、ＩＣＴを活用したサービス利用環境の整備を行うことで、市民がより運動・スポーツにアクセスしやすい環境づくりにも取り組みます。

施策1 スポーツに親しみやすい環境の整備

施策2 情報提供・相談支援体制の充実

実績・評価

事業実績

- ・有料公園施設指定管理者（スポーツ協会）において、市民ニーズに合わせたスポーツ用具の新規購入・貸出し等を積極的に展開
- ・スポーツ施設の老朽化について、田辺公園プールのポンプ更新や田辺中央体育館軒天井補修工事など計画的に修繕を実施
- ・公共施設オンライン予約システムについて、府内検討会議で導入を検討

課題

- ・スポーツに関する情報発信において、生涯学習だよりの記事内容等の見直しが行われるため、SNSなどあらたな情報発信ツールの活用が必要